

区分・種別	県指定無形民俗文化財		
名 称	いさ踊り		
所 在 地	宇和島市遊子津の浦		
所 有 者		保 護 団 体	津の浦自治会
指定年月日	昭和56年3月13日		
解 説	<p>この踊りは、旧暦7月15日（現在は月遅れ盆の8月15日）に、津の浦住民によって神仏に祈願し新亡者に捧げるため、海浜で演ぜられる芸能である。元来、権現山（海拔489m）の見える沖合の海上で、3艘の網船に板を渡して作った舞台上で演じられるものであった。その由来は、吉見静寛が安政3（1856）年に著した『諫踊由来記』に詳しい。それによれば津の浦地区には海の難所があって遭難が多く、その亡霊に悩まされていた。そこで丹後国の但馬殿を訪ねて、「いさ踊り」20条を習い、盆踊りをしたところ亡霊が静まったという。延享元年（1744年）以降の文献資料により200年余にわたって伝承されてきたことがわかる。歌詞は現在16曲残っているが、敬けんな信仰に裏付けられ、強固なつながりにより古い様式を続けてきた踊りで、宇和海一帯に伝承されている風流踊りの代表的なものである。</p>		

